

CAD情報

設計分野のコラボレーションプラットフォームへと進化 『AutoCAD 2012』『AutoCAD LT 2012』

オートデスクの2次元／3次元CAD『AutoCAD 2012』と2次元ドラフティングCAD『AutoCAD LT 2012』は、機能強化はもとより、設計チームに快適なコラボレーションプラットフォームを提供し、設計業務に革新をもたらす。最先端のクラウド・コンピューティングやシンクライアントにも対応し、建築・建設業や製造業などで幅広く利用することが可能だ。機能面に留まらずワークフローも含め、まさにあらゆる面で進化を遂げており、パートナー様にとっては訴求力の高い製品といえる。

オートデスク株式会社
プラットフォームソリューション兼
社会・公共ソリューション本部長
草谷 裕信氏



他社CADとの連携性を強化し 真のコラボレーションを提供

『AutoCAD』は、1982年に国内市場に登場して以来、約30年の長きにわたり、「正確な図面を描く」「作図を効率よく行う」「データの互換性を維持する」というCADに普遍的に求められている3つの要件を満たしながらニーズを捉え、機能強化してきた。特にファイル形式のDWGは、全世界で使用されているのでデータの互換性が高く、導入企業はグローバル展開しやすいといった他社製品には真似のできない利点がある。さらに、最新版の『AutoCAD 2012』および『AutoCAD LT 2012』は、従来の機能強化の延長線上に留まるものではない。従来の設計業務のワークスタイルを変革するコラボレーションプラットフォームへと大きく進化を遂げたのである。

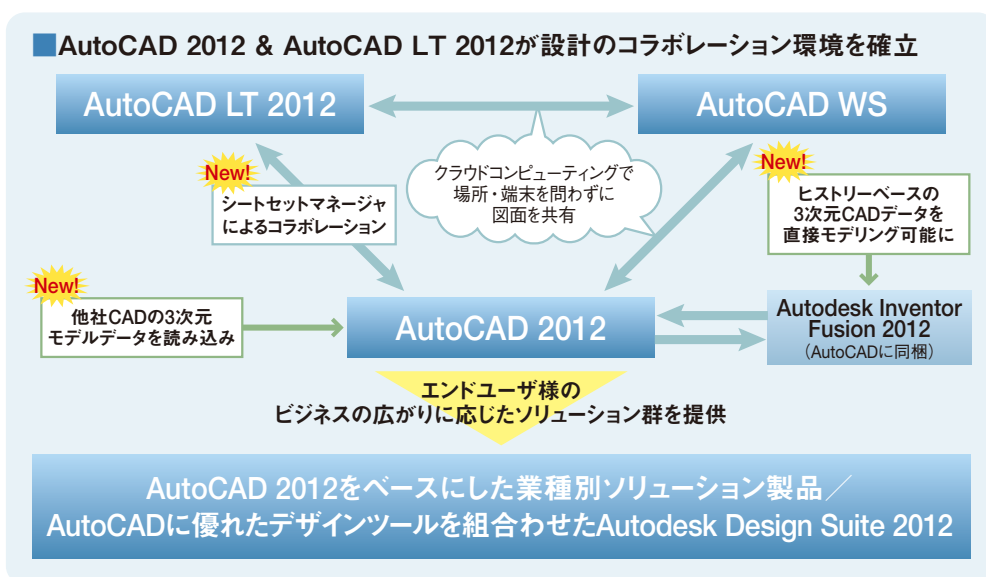
その最大のポイントについて、プラットフォームソリューション兼 社会・公共ソリューション本部長の草谷 裕信氏は「新バージョンの最大のポイントは、他社CADとの連携性が高まったことです。

『AutoCAD 2012』では、他社CADで作成した3次元モデルデータを取り込み、それを2次元の詳細図面に変換したり、プレゼン用に加工したりすることが、これまで以上に簡単にできるようになっています」と説明する。例えば、他社製品の3次元モデルがあったとしても、それを製造工程に渡す段階で2次元の詳細図面に落とし込まなければ作業が進まない。『AutoCAD』で一からモデリング作業をするのではなく、『AutoCAD 2012』を中心としたスムーズな業務の流れを作れば、設計者の負担は一挙に軽減される。

もう一つの大きなポイントは、クラ

ウド・コンピューティングへの対応だ。『AutoCAD 2012』および『AutoCAD LT 2012』は、Webブラウザを搭載したPCやiPadなどのモバイル機器からDWG図面を閲覧・編集・共有できる『AutoCAD WS』との親和性が向上し、リボンインタフェースから簡単に図面をアップロードできる。現場にいるプロジェクトメンバーは、モバイル環境で、いつでも最新のデータを確認し、容易にリアルタイムにコラボレーションが実現できる。

また、『AutoCAD LT 2012』には、これまで『AutoCAD』のみに搭載されていた「シートセットマネージャ」が新たに実装された。『AutoCAD』は比較的高額な



大規模企業ではWindows 7へのリプレースが始まっています!

Windows XPのサポート期限切れからくるリプレース機運が高まっています。大規模企業のWindows 7機へのリプレースが始まっているため、協力企業である中堅・中小企業のエンドユーザ様へのリプレースをご提案ください。



Windows 7 + AutoCAD 2012



PCのリプレース時にCADもご提案ください



Windows XP

で、チーム設計を行う際に『AutoCAD』と『AutoCAD LT』を使う人を分けているケースがある。そのため、「シートセットマネージャ」を使って両者の間で図面を共有化できることが長年の課題だった。今回、それが実現されたことで、チーム設計の促進が期待できる。

シンクライアントへの対応やWindows 7への最適化を実現

『AutoCAD 2012』は、シトリックス社のCitrix XenAppにも新たに対応。『AutoCAD 2012』をサーバ側にインストールしておけば、PC側にはインストールしなくても利用できるため、利便性やセキュリティが大幅に強化できる。

草谷氏は、「パートナー様にとっては、『AutoCAD 2012』とシトリックスの仮想化ソリューションを組み合わせることで、販売展開することで、ビジネスのボリュームを増やせるメリットも生まれるでしょう」と話す。

さらに、『AutoCAD 2012』および『AutoCAD LT 2012』は、Windows 7への最適化を実現し、起動時間が格段に速くなっている。『AutoCAD 2012』なら約10秒でソフトを使用できる状態になる。今年は、大規模企業がWindows 7へのリプレースに本腰を入れて取り組み始めたところな

ので、Windows 7導入にあわせてAutoCAD/AutoCAD LTのバージョンアップを提案する絶好の機会といえる。

『AutoCAD 2012』『AutoCAD LT 2012』は機能面も大幅に強化された。例えば、自動調整配列複写を利用すれば、高速道路の外灯やスタジアムの椅子など等間隔に設置するオブジェクトをパスに沿って自動的に配列複写できるので、設計時間を大幅に短縮することが可能になる。

また、オートデスクではAutoCADをベースにした建築、土木、社会公共、製造の各分野に特化した業種別ソリューションに加え、AutoCADに優れたデザインツールを組み合わせたAutodesk Design Suiteをこの度発売開始しましたので、パートナー様は、エンドユーザ様のニーズに合わせて最適な製品を追加提案できる利点もある。ビジネスチャンスを逃さずにぜひ有効活用していただきたい。BP

AutoCAD LTファミリーキャンペーン第2弾実施中

今なら最大30%OFFで、AutoCAD LT 2012にアップグレードできる!

期間：2011年5月1日(日)～2011年7月22日(金)

対象ユーザ	対象製品	通常価格	第二弾キャンペーン価格
AutoCAD LT 2009/2010/2011をお持ちのユーザ様	AutoCAD LT 2012 アップグレード	99,750円	30%OFF 69,825円
	AutoCAD LT 2012 サブスクリプションバンドルパック アップグレード	132,300円	22%OFF 102,375円

AutoCAD LT Civil SuiteやAutoCAD Inventor LT Suiteのキャンペーン価格もあります

詳しくは→<http://www.autodesk.co.jp/LTfamily>へ

～「新しい」ではじめよう～ アップグレード2012キャンペーン実施中

期間：2011年5月16日(月)～2011年7月15日(金)

お持ちの オートデスク製品を 最新バージョンに アップグレード	+	サブスクリプションの 同時購入	→	通常価格から 30%OFF ※サブスクリプションはディスカウントされません
--	---	--------------------	---	--

キャンペーンで、AutoCAD 2012にアップグレードされるユーザ様、先着200名に『AutoCAD 2012 / AutoCAD LT 2012公式トレーニングガイド』をプレゼント!

詳しくは→ <http://www.autodesk.co.jp/autocad>へ